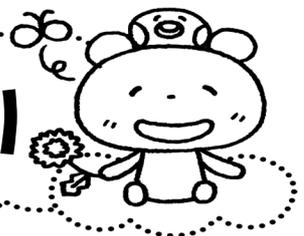


たんぽぽぐみだより



尚徳福祉会 日野保育園 2021年3月

日に日に寒さが和らぎ木々の蕾や沿道の花を目にすると春の訪れを感じますね。寒い日もありましたが、子どもたちは元気いっぱい散歩や園庭遊びを楽しんでいます。いよいよ、今年度も残りあとわずか。この1年で大きく成長した子どもたちの姿が嬉しく、頼もしさを感じています。たんぽぽ組で過ごす時間を大切にしながら、楽しく過ごしていきたいと思ひます。



ひなまつり

子どもたちがお内裏様とお雛様の目と口をシールを貼って雛人形の制作をしました。お部屋に飾ると「おひなさまはピンク!」「あおはおとこのこ!」と作った作品を嬉しそうに保育者に知らせたり、「うれしいひなまつり」の歌をお友達や保育者と一緒に歌ったりして楽しんでいます。

☆もうすぐ、すみれ組のお兄さんお姉さん☆

保育者がもう少しで進級することを伝えると、「すみれさんになる!」「おにかいのおへやく!」と言って、楽しみにする姿が見られます。また、夕方の時間、同じ場所ですみれ組の子と一緒に遊んだり、すみれ組にあるおもちゃを使ったりして、新しい玩具に夢中になって遊んでいます。

安心して進級できるよう、すみれ組の部屋に行つて過ごす時間を増やしたり、進級する嬉しさを共感したりしながら関わっていきます。



一年を振り返って

4月当初は新しい環境に戸惑い、おんぶや抱っこで過ごすこともありましたが、少しずつ園の生活に慣れると、好きな遊びを見つけて保育者と遊んだり、食事や着替えを一緒に行ったりして、共に過ごしていくうちに笑顔を見せてくれるようになりました。また、バギーに乗ってのお散歩も、今では全員が手を繋いで歩いて近隣の公園へも行くようになりました。そして、「せんせいといっしょ!」が嬉しかった姿から、少しずつクラスの子へ興味を示し始め、友達に関わろうとする姿や子ども同士で遊ぶ姿が増えてきました。「〇〇ちゃんあそぼ♪」「〇〇くんといっしょ!」と、子ども同士でのお喋りを楽しんだり、泣いている子がいると、「どうしたの?」「だいじょうぶ?」と顔を覗き込んで心配したりする子どもたちを見て、心身ともに成長しているのだな、と感心されます。

自分の気持ちを伝えようとする気持ちがより大きくなるにつれて、葛藤したり、思うようにいかなかったりする時があると思ひます。子どもたち一人一人の気持ちを受け止め、安心して園生活を過ごせるよう関わり、これからも子どもたちの成長を、見守り応援していきたいと思ひます。至らない点が多々あり、ご迷惑をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

たんぽぽ組担任一同

